

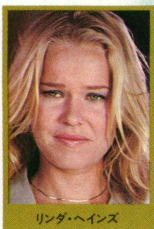
悲しすぎる男たちの世界に、自由の光をそそぐため、男は来た！

熱い衝撃と感動！全米では早くも“本年度ベストワン”の呼び声！

Robert Redford “BRUBAKER”



マレー・ハミルトン



リンダ・ヘインズ



ジェーン・アレクサンダー



ヤフェット・コッター

ロバート・レッドフォード “ブルベイカー”

ロバート・レッドフォード“ブルベイカー”／ヤフェット・コッター／ジェーン・アレクサンダー／マレー・ハミルトン

デビッド・キース／モーガン・フリーマン／マット・クラーク／ティム・マッキンタイア

製作ロン・シルバーマン／監督スチュアート・ローゼンバーグ／脚色W・D・リクター

＜ストーリー＞W・D・リクター ◆アーサー・ロス（トーマス・モートン／ジョー・ヘイズ共著の原作より）◆小説化ウィリアム・ハリソン（評論社刊）／音楽ラロ・シフリン

デラックスカラー／パナビジョン



20世紀FOX映画配給

★スタッフ

監督……………スチュアート・ローゼンバーグ
 製作……………ロン・シルバーマン
 製作総指揮……………テッド・マン
 脚色……………W・D・リクター
 ストーリー……………W・D・リクター
 ……………アーサー・ロス
 小説化……………ウィリアム・ハリソン(評論社刊)
 音楽……………ラロ・シフリン

★キャスト

ブルベイカー……………ロバート・レッドフォード
 ディッキ……………ヤフェット・コッター
 リリアン……………ジェーン・アレクサンダー
 ディーチ……………マレー・ハミルトン
 ラリー……………デビッド・キース
 ウォーター……………モーガン・フリーマン
 パーセル……………マット・クラーク
 ヒューイ……………ティム・マッキンタイア
 (上映時間=2時間10分)



★人気絶頂／ロバート・レッドフォードが彼の真髄を見せた傑作の誕生！

ウォーターゲート事件を描いた秀作「大統領の陰謀」を製作、主演したレッドフォードは、ハンサムなだけのスターではなく、社会意識と、ジャーナリスト的な感性に鋭い、新しいタイプのハリウッド・スターとして有名だが、「遠すぎた橋」の軽い役に出演したあと、3年間沈黙していた。その彼が精魂こめてカムバックした「ブルベイカー」は、「大統領の陰謀」の系列に並ぶ、レッドフォードというスターがたまたものではなない彼の真髄を見せた問題性を持った秀作として全米では興行的に大ヒット。マスコミも「本年度ベスト1」と絶讃している。「レッドフォードは、彼の映画経歴中、最高の名演を披露。最高のできばえの衝撃的な映画」(ロサンゼルス・タイムズ)。「息づまるような緊張感と呼ぶ」(ニューズウィーク誌)。「勇気ある映画」(サンフランシスコ・クロニクル)。「今年出現したアメリカ映画の最高作」(シアトル・タイムズ)——と、熱狂的な讃辞を寄せている。

信じられないような、この世の生地獄が、現代のアメリカにあった！これは実際にアーカンソーの刑務所にあった実話で、刑務所内に潜入り肌で体験したトーマン・O・マートンのノン・フィクションが原作となっている。

★正義と理想主義に燃える男ブルベイカーがつかんだこの恐るべきアメリカの裏面！

ブルベイカー(レッドフォード)という囚人が、刑務所に送られてくるのがドラマの発端である。この刑務所は、自治委員が選出した囚人によって管理されるという民主的なやり方で運営されていたが、ブルベイカーが体験した囚人生活は、民主主義とは遠い、この世の地獄であった。

囚人へのリンチは日常茶飯事で、暴力が所内にあふれ、囚人たちの食事ときたら家畜以下、ウジの浮いている不衛生なもの。セックスに飢えた男たちの間ではホモも公然と暴力で強制された。自治委員たちは囚人から金をもらえば多少の無理もきいてやり、買収があたりまえのように通用していた。囚人への割りあての食糧は横流しされ出入りの商人に売って金をすいあげ、施設の建物も荒れほうだい。

て、刑務所の実態をさぐるために侵入した政府側の人間で、新所長だった。

★これは汚職とワイロ、不正と非合理にみちた政財界の縮図であり民衆の怒りのドラマだ！

ブルベイカーは、囚人の待遇改善と、制度の改革に全力をそそぐようになるが、ワイロや収入がなくなりだした自治委員たちは反感を持ち、彼のやり方に抵抗した。ブルベイカーは、囚人用の大量の食糧が蒸発していることをつきとめ、自治委員のヒューイの不正をつきとめる。しかも、黒人の棺桶作りの囚人から、所内の農場に死体が埋められるという恐るべきことを聞かされる。ブルベイカーは、囚人を使って農場を堀り起こすことになるが、自治委員たちは上院議員を動かして、ブルベイカーの作業を中止させるよう圧力を加えてくる。

この真相がマスコミに暴露されると、上院議員たちには選挙にも影響し、自治委員たちとのダーティな関係も世間に知られることとなるので、彼らは手をつくしてブルベイカーに作業中止を命じる。

ブルベイカーは、妥協を許さず、ついに所内で起こっていた大量虐殺の死骸を発見し議員たちの反対を押し切ってマスコミに真相を発表したため、所長の地位を追われることになる。

この映画は、多くの刑務所を舞台にした映画とは、まったく違った新しいタイプの社会派映画であった。この所内で起こっている管理者たちの汚職とワイロ、ダーティな金銭による取引、ファシズム的な独裁と専制主義は、いまの管理社会の裏面についており、闇が闇の取引は、そのまま政財界や商社にも共通する不正の縮図でもある。この真相を暴露するため、職場を追放されても不正と権力に向って戦う理想主義者であるブルベイカーは、「大統領の陰謀」の新聞記者ボブ・ウッドワードにも共通する現代のヒーローであり、レッドフォードにも共通する「カッコー」の巣の上で、や「ミッドナイト・エクスプレス」などくらべられ、これらの秀作をしのぐ次期アカデミー賞の作品賞、レッドフォードの主演男優賞が有力と噂される名作の誕生である。

監督は「暴力脱獄」「さすらいの航海」の名匠スチュアート・ローゼンバーグが当たっている。

「スター・ウォーズ」の原典／製作費4000万ドルのSF映画史上最高最大のスーパー巨篇！

80年新春第2弾大公開

フリンジ・ユ・ゴードン

11月8日(土)ロードショー！

特別鑑賞券1100円(当日一般1400円、学生1100円)の処 只今当劇場窓口にて発売中！

新宿 グランドオデオン (202) 0141

平日	祝日	11:20	1:40	4:15	6:20
日・祝	9:05	11:20	1:40	4:15	6:20